

(7) 大学等

① 鹿児島大学

| | | |
|----------------------|---|--|
| 1 | 事業名 (事業主体) | 外国人受託研修員の受入 (独立行政法人国際協力機構) |
| | 開始年度 | 昭和 49 年度 |
| | 事業概要 | 国際協力事業団が開発途上国から招致する研修員に対し、国立大学において研修の機会を与え、その資質の一層の向上を図る。 |
| | 令和 6 年度実績 | <p>(1) 持続的漁業開発のための能力強化</p> <p>期 間：令和 6 年 5 月 29 日～7 月 4 日</p> <p>国別参加者：カメルーン 1 名 エリトリア 1 名 ガンビア 1 名 インド 1 名 マレーシア 1 名 パプアニューギニア 1 名 フィリピン 1 名 ベトナム 1 名 エジプト 1 名 コートジボワール 1 名 バングラデシュ 1 名</p> <p>(2) アフリカ地域 稲作振興のための中核的農学研究者の育成 イネの生理・生態研究手法の習得</p> <p>期 間：令和 6 年 7 月 17 日～8 月 7 日</p> <p>国別参加者：ジンバブエ 1 名 セネガル 1 名</p> <p>(3) 2024 年度課題別研修 離島・へき地における地域保健から学ぶ生活習慣病対策</p> <p>期 間：令和 6 年 11 月 8 日～11 月 22 日</p> <p>国別参加者：ブータン 1 名 キリバス 1 名 トンガ 1 名 ベリーズ 1 名 ソロモン 1 名 スリランカ 1 名 ドミニカ共和国 1 名</p> |
| 令和 7 年度計画 (実績を含む) | <p>(1) 持続的漁業開発のための能力強化</p> <p>期 間：令和 7 年 4 月 22 日～10 月 15 日</p> <p>国別参加者：アルジェリア 1 名 カメルーン 1 名 エリトリア 1 名</p> | |

| | | |
|---|--------------------|---|
| | | <p>マラウイ 2名 モーリシャス 1名 モザンビーク 1名 フィリピン 1名 セネガル 1名</p> <p>(2) 水産業を核とするブルーエコノミーのための持続可能な小規模漁業（アカデミックコース）</p> <p>期 間：令和7年7月7日～8月4日</p> <p>国別参加者：パラオ 1名</p> |
| 2 | 事業名 （事業主体） | 論文博士号取得希望者に対する支援事業 （独立行政法人日本学術振興会） |
| | 開始年度 | — |
| | 事業概要 | アジア諸国の学術振興機関との覚書に基づき、それらの国の大学研究所等に所属している研究者に対し、日本の大学において大学院の課程によらず、学位規則の規定に基づく論文提出によって、博士の学位を取得することを支援する。 |
| | 令和6年度実績 | バングラデシュ 1名 ※令和7年1月8日から令和7年2月7日まで受入 |
| | 令和7年度計画 （実績を含む） | 論文博士号取得希望者に対する支援事業の契約期間は令和6年度までのため令和7年度計画なし。 |
| 3 | 事業名 （事業主体） | 外国人特別研究員制度 （独立行政法人日本学術振興会） |
| | 開始年度 | — |
| | 事業概要 | 博士号取得直後の若手外国人研究者を我が国の大学等に受入れ、適切な研究指導のもとで研究させる。 |
| | 令和6年度実績 | ミャンマー 1名 令和4年11月30日から令和6年11月29日まで受入 イタリア 1名 令和7年3月30日から令和7年4月1日まで受入 |
| | 令和7年度計画 （実績を含む） | バングラデシュ 1名 令和8年3月1日から令和10年2月28日まで受入予定 |
| 4 | 事業名 （事業主体） | 国際協力機構による専門家の派遣 （独立行政法人国際協力機構） |
| | 開始年度 | — |
| | 事業概要 | 我が国の専門家・技術者を発展途上国に派遣し、各国の政府機関・学校等で開発計画の立案、調査研究、指導などの業務を行う。 |
| | 令和6年度実績 | 実績なし |
| | 令和7年度計画 （実績を含む） | (1) メコンデルタにおける気候変動と塩水遡上に適応した先進的かつ持続可能な水産養殖システムの開発支援 |

| | | |
|---|--------------------|--|
| | | <p>期 間：令和7年9月8日～9月13日</p> <p>担当業務：短期派遣専門家</p> <p>派 遣 者：教授 1名</p> <p>派 遣 国：ベトナム</p> <p>(2) 持続的漁業開発のための能力強化</p> <p>期 間：令和7年11月17日～11月26日</p> <p>担当業務：フォローアップ調査団員</p> <p>派 遣 者：准教授 1名</p> <p>派 遣 国：マラウイ</p> |
| 5 | 事業名 (事業主体) | 海外特別研究員 (独立行政法人日本学術振興会) |
| | 開始年度 | — |
| | 事業概要 | 我が国の学術の将来を担う国際的視野に富む有能な研究者を養成・確保するため、優れた若手研究者を海外に派遣し、特定の大学等研究機関において長期間研究に専念できるよう支援する事を目的とする。 |
| | 令和6年度実績 | 英国 1名、豪州 1名 |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | カナダ 1名、米国 1名 |
| 6 | 事業名 (事業主体) | 外国人招聘研究者制度 (独立行政法人日本学術振興会) |
| | 開始年度 | — |
| | 事業概要 | <p>(1) 短期招へい 日本の研究者との討議・意見交換・講演等を通して関係分野の研究の発展に寄与することを目的とする。</p> <p>(2) 長期招へい 学術の国際協力を推進するため外国人研究者を長期間招聘し、日本の研究者と協力して研究を行うことを目的とする。</p> |
| | 令和6年度実績 | 実績なし |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | <p>(1) 短期招へい 計画なし</p> <p>(2) 長期招へい バングラデシュ 1名</p> |
| 7 | 事業名 (事業主体) | 二国間交流事業 (独立行政法人日本学術振興会) |
| | 開始年度 | — |
| | 事業概要 | 個々の研究者交流を発展させた二国間の研究チームの持続的ネットワーク形成を目指し、我が国の大学等の優れた研究者（若手研究者を含む）が相手国の研究者と協力して行う共同研究・セミナーの実施に要する経費を支援する。 |
| | 令和6年度実績 | 共同研究：3件 |

| | | |
|----|--------------------|---|
| | | 相手国：インドネシア、オーストラリア、マレーシア |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 共同研究：2件 相手国：オーストラリア、マレーシア |
| 8 | 事業名 (事業主体) | 若手研究者海外挑戦プログラム (独立行政法人日本学術振興会) |
| | 開始年度 | — |
| | 事業概要 | 博士後期課程の学生等が海外という新たな環境へ挑戦し、3か月～1年程度海外の研究者と共同して研究に従事できるよう滞在費等を支給し、将来国際的な活躍が期待できる豊かな経験をもち合わせた優秀な博士後期課程学生等の育成に寄与するプログラム。 |
| | 令和6年度実績 | 実績なし |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 計画なし |
| 9 | 事業名 (事業主体) | 帰国外国人留学生短期研究制度に基づく外国人研究者の受入れ (独立行政法人日本学生支援機構) |
| | 開始年度 | 平成7年度 |
| | 事業概要 | かつて、アジア、中南米、中近東、アフリカ等の地域の開発途上国から我が国に留学し、現在自国において教育、学術研究又は行政の分野で活躍している者に対し、我が国の大学において、当該大学の研究者と共に短期研究を行う機会を与え、学術研究及び国際交流の推進に寄与することを目的とする。 |
| | 令和6年度実績 | ・タンザニア：1名 |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 実績なし |
| 10 | 事業名 (事業主体) | 帰国外国人留学生研究指導事業に基づく日本人研究者の派遣 (独立行政法人日本学生支援機構) |
| | 開始年度 | 平成7年度 |
| | 事業概要 | 我が国における留学を終了し、帰国後、自国の大学等高等教育機関及び学術研究機関で教育、研究活動に従事している者に対し、我が国における留学時の指導教員等を現地に派遣して行わせる研究指導等の実施を支援することにより、帰国留学生の教育、研究能力を高めるとともに、その他研究者等に対する有益な情報の提供を通じて、現地の研究者との学術交流の推進及び我が国への留学促進に寄与することを目的とする。 |
| | 令和6年度実績 | 募集なし |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 募集なし |
| 11 | 事業名 | マレーシア政府派遣学部留学生 |

| | | |
|----|----------------------|--|
| | (事業主体) | (文部科学省) |
| | 開始年度 | 昭和 59 年度 |
| | 事業概要 | マレーシア政府が同国の将来を担う人材の育成のため、大きな期待をかけて我が国に留学生を派遣しようとするもので、文部科学省としても同国の教育交流、教育協力を促進することを目的とする。 |
| | 令和 6 年度実績 | 入 学 者 数 : 0 名 編 入 学 者 数 : 0 名 在籍学部生数 : 4 名 |
| | 令和 7 年度計画 (実績を含む) | 入 学 者 数 : 0 名 編 入 学 者 数 : 2 名 在籍学部生数 : 3 名 (編入学者 2 名含む) |
| 12 | 事業名 (事業主体) | 国費外国人留学生制度 (文部科学省) |
| | 開始年度 | 昭和 29 年度 |
| | 事業概要 | 外国人を日本の国費により受入れ、日本の大学または大学附属研究所等において学習・研究を行う。大学の学部にて在学する者を学部留学生、大学院等において専門の分野について研究を行う者を研究留学生という。その他に教員研修留学生、日本語・日本文化研修留学生等も受け入れている。 〔奨学金支給額〕 ・学部留学生、日本語日本文化研修留学生 月額 : 117,000 円 ・研究留学生、教員研修留学生 月額 : 143,000 ~ 145,000 円 〔入学時期〕 4 月, 10 月 |
| | 令和 6 年度実績 | 在籍者数 : 前期 48 名 (18 カ国) 後期 58 名 (20 カ国) |
| | 令和 7 年度計画 (実績を含む) | 在籍者数 : 前期 58 名 (22 カ国) 後期 63 名 (21 カ国) |
| 13 | 事業名 (事業主体) | 国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム (文部科学省) |
| | 開始年度 | 平成 28 年度 (以後, 後継プログラムを実施) |
| | 事業概要 | ① 地域インフラを支え地域環境に貢献する技術者養成プログラム (理工学研究科) 教育機関や地元企業等と連携し, (1) 地域インフラの維持管理とマネジメントに貢献できる中堅技術者, (2) インフラや地球環境の保全に資する高度人材を養成し, 地域インフラを支えると同時に, グローバルな地球環境保全に貢献 |

| | | |
|----|--------------------|--|
| | | <p>する。</p> <p>実施期間：令和5～7年度 優先配置人数：5名／年</p> <p>② 精神・神経研究のすそ野を広げるグローバル人材育成プログラム（医歯学総合研究科）</p> <p>東南アジアや西南アジア，中東諸国より留学生をリクルートし，神経科学に関する体系的な教育を行うことにより脳・神経科学の専門知識をもつ人材を育成する。国費留学生優先配置により鹿児島や九州地域の研究機関や企業への就職，あるいは国内外のトップ研究機関での研究職に就き，精神・神経疾患の克服に貢献する人材を輩出することを目標とする。</p> <p>実施期間：令和6～8年度 優先配置人数：3名／年</p> <p>③ 熱帯における持続可能な食料生産向上のための技術者養成プログラム（農林水産学研究科）</p> <p>対象地域の持続可能な食料生産向上に必要な高度な技術を習得し、地域の食料生産と食料生産体系の安定化に貢献すると共に、日本人学生の国際感覚と英語能力向上に資する。</p> <p>実施期間：令和7～9年度 優先配置人数：3名／年</p> |
| | 令和6年度実績 | <p>入学者数：6名（①3名、②3名）（4カ国）</p> <p>在籍学部生：0名 在籍大学院生：12名</p> |
| | 令和7年度計画 （実績を含む） | <p>入学者数：9名（①3名、②3名、③3名）（4カ国）</p> <p>在籍学部生：0名 在籍大学院生：17名</p> |
| 14 | 事業名 （事業主体） | 私費外国人留学生受入 （鹿児島大学） |
| | 開始年度 | 昭和30年度 |
| | 事業概要 | 学部学生，大学院生，研究生，科目等履修生として，国費留学生制度や自国政府派遣留学生制度によらないで，私費で留学する学生を受け入れている。 |
| | 令和6年度実績 | 253名 |
| | 令和7年度計画 （実績を含む） | 222名 |
| | 15 | 事業名 （事業主体） |
| | 開始年度 | 平成22年度 |
| | 事業概要 | 大学憲章に基づき，自主自律と進取の精神を併せ持ち，かつ社 |

| | | |
|----|--------------------|--|
| | | 会の発展に貢献し、国際社会で活躍できる人材育成を図るため、学生の海外研修を支援する。 |
| | 令和6年度実績 | 対象国：14ヶ国 支援人数：127名 |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 対象国：12ヶ国(予定) 支援人数：158名(予定) |
| 16 | 事業名 (事業主体) | 大学地域コンソーシアム鹿児島(地域留学生交流推進部会) (鹿児島大学) |
| | 開始年度 | 令和2年度 |
| | 事業概要 | 鹿児島県内における外国人留学生の受入れ体制の充実と交流活動の推進を図り、地域住民の国際理解に寄与するとともに、日本人学生の海外留学の支援体制を推進する。 〔協議事項〕 ・留学生受入れに関する協力体制の推進 ・留学生の勉学条件及び生活環境等の整備 ・留学生と地域との交流の促進及び情報交換 ・日本人学生の海外留学の支援体制の整備 |
| | 令和6年度実績 | 地域留学生交流推進部会開催開催 |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 地域留学生交流推進部会開催予定 |
| | 17 | 事業名 (事業主体) |
| | 開始年度 | (派遣)平成8年度 (受入)平成7年度 |
| | 事業概要 | 〔協定派遣〕 日本の大学等と諸外国の高等教育機関との学生交流に関する協定等に基づいて、在籍大学等に在籍したまま8日以上1年以内の期間、在籍大学等が実施する派遣プログラムに参加する学生に対し、独立行政法人日本学生支援機構が奨学金を支給するもの。 〔協定受入〕 日本の大学等と諸外国の高等教育機関との学生交流に関する協定等に基づいて、諸外国の大学等に在籍したまま8日以上1年以内の期間、受入れ大学等が実施する受入れプログラムに参加する学生に対し、独立行政法人日本学生支援機構が奨学金を支給するもの。 |
| | 令和6年度実績 | 派遣：71名 受入：22名 |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 派遣：57名(予定) 受入：0名(予定) |

| | | |
|----------------------|----------------------|--|
| 18 | 事業名 (事業主体) | 官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～ (文部科学省) |
| | 開始年度 | 平成 26 年度 |
| | 事業概要 | 海外での「異文化体験」や「実践活動」を焦点にした留学を推奨することにより、学生時代により多様な経験と、自ら考え行動できるような体験の機会を提供するため、諸外国の大学等といった教育機関での留学だけでなく、企業でのインターンシップや学生が立案した多様なプロジェクト等の留学を支援する。 |
| | 令和 6 年度実績 | 2 名留学 |
| | 令和 7 年度計画 (実績を含む) | 2 名留学 (予定) |
| | 19 | 事業名 (事業主体) |
| 開始年度 | | 平成 21 年度 |
| 事業概要 | | 次世代を担う若手教員の海外の教育研究機関における研修を支援することにより教育研究能力等の向上を図り、本学の教育研究の国際的通用性・共通性の向上に資することを目的としている。 |
| 令和 6 年度実績 | | ・オーストラリア：1 名 ・フィンランド：1 名 |
| 令和 7 年度計画 (実績を含む) | | ・ナイジェリア：1 名 |
| 20 | 事業名 (事業主体) | 鹿児島大学若手教員海外研修支援事業 (女性枠) (鹿児島大学) |
| | 開始年度 | 令和 3 年度 |
| | 事業概要 | 次世代を担う女性・若手教員の海外の教育研究機関における研修を支援することにより教育研究能力等の向上を図り、本学の教育研究の国際的通用性・共通性の向上、女性上位職となる候補者層の充実を目的としている。 |
| | 令和 6 年度実績 | ・タイ 1 名 |
| | 令和 7 年度計画 (実績を含む) | ・米国 1 名 |
| 21 | 事業名 (事業主体) | 鹿児島大学国際交流助成事業 (鹿児島大学) |
| | 開始年度 | 令和 3 年度 |
| | 事業概要 | 本学と海外の女性研究者同士の国際共同研究を促進するため、本学の女性研究者 (大学院生や外国人留学生等含む) 自らが企画し遂行する双方向交流型情報交換・情報収集など国際共同研 |

| | | |
|----|--------------------|--|
| | | 究スタートアップに係る費用を助成する。 |
| | 令和6年度実績 | ・オーストラリア 2名 |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | ・米国 1名 |
| 22 | 事業名 (事業主体) | 鹿児島大学国際共同研究促進事業 (鹿児島大学) |
| | 開始年度 | 令和3年度 |
| | 事業概要 | 上位職登用が期待される女性研究者や女性研究者が中心となっ て行っている国際共同研究に対して研究助成を行い、国際的リ ーダーシップを発揮できる女性研究者を育成する。 |
| | 令和6年度実績 | ・インドネシア 1名 |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | ・ガボン共和国 1名 |
| 23 | 事業名 (事業主体) | 鹿児島大学学生海外留学支援事業 (鹿児島大学) |
| | 開始年度 | 平成23年度 |
| | 事業概要 | 鹿児島大学憲章及び学生憲章に謳われている「進取の気風にあ ふれ、困難な課題に果敢に挑戦し、国際的に通用する人材」を 育成するため、海外の学術交流協定校へ6月以上1年未満の期 間に留学する日本人学生を経済的に支援することを目的とす る。 |
| | 令和6年度実績 | 16名 |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 1名 ※要件を変更し、他制度等による経済的支援が受けられ ない者のみを対象とした |
| 24 | 事業名 (事業主体) | 鹿児島大学における鹿大「進取の精神」支援基金支援事業(学 生海外派遣事業、留学生受入推進事業、若手研究者支援事業) (鹿児島大学) |
| | 開始年度 | 平成28年度 |
| | 事業概要 | 地域活性化の中核的拠点の構築を目指し、また世界に開かれた 教育・研究拠点の形成を図るため、質の高い教育研究の推進及 び地域貢献活動の一層の活性化に必要な支援を行い、「自主自 律と進取の精神を尊重し、地域とともに社会の発展に貢献す る」ことを目的とする。 |
| | 令和6年度実績 | ○ 学生海外派遣事業 【長期派遣留学】 19名 【中期派遣留学】 (鹿児島大学学生海外研修支援事業に含まれる) |

| | | |
|----|--------------------|--|
| | | <p>15名（4ヶ国）</p> <p>【短期海外研修】 （鹿児島大学学生海外研修支援事業に含まれる）</p> <p>112名（13ヶ国）</p> <p>○ 留学生受入推進事業</p> <p>【日本語研修生】 1名</p> <p>【全学グローバル交流推進事業 留学生受入プログラム】 7名</p> <p>【短期研修学生受入】 22名</p> |
| | 令和7年度計画 （実績を含む） | <p>○ 学生海外派遣事業</p> <p>【長期派遣留学】 1名（予定）</p> <p>【中期派遣留学】 （鹿児島大学学生海外研修支援事業に含まれる） 17名（6ヶ国）（予定）</p> <p>【短期海外研修】 （鹿児島大学学生海外研修支援事業に含まれる） 141名（10ヶ国）（予定）</p> <p>○ 留学生受入推進事業</p> <p>【全学グローバル交流推進事業 留学生受入プログラム】 8名（予定）</p> |
| 25 | 事業名 （事業主体） | 国際学術交流協定 （鹿児島大学） |
| | 開始年度 | 平成2年度 |
| | 事業概要 | 教育・研究の両面における学術の国際交流を推進させるため、海外の諸大学及び研究機関と学術交流協定を締結し、本学の国際交流のより一層の充実・発展を図る。 |
| | 令和6年度実績 | <p>(1) 大学間国際学術交流協定校 27カ国・地域 97機関</p> <p>(2) 部局間国際学術交流協定校 35カ国・地域 92機関</p> |
| | 令和7年度計画 （実績を含む） | <p>(1) 大学間国際学術交流協定校 26カ国・地域 97機関</p> <p>(2) 部局間国際学術交流協定校 36カ国・地域 95機関</p> |
| 26 | 事業名 （事業主体） | 協定校留学（派遣・受入） （鹿児島大学） |
| | 開始年度 | — |

| | | |
|----|--------------------|---|
| | 事業概要 | 〔協定校派遣留学〕 本学と国際学術交流協定（学生交流覚書）を締結している協定大学等へ、相互の教育・研究水準の向上、各国間の相互理解と友好親善の増進を目的とし、本学に在籍する学生を派遣するもの。 |
| | 令和6年度実績 | 派遣：19名 受入：（前期）32名（後期）37名 |
| | 令和7年度計画 （実績を含む） | 派遣：13名 受入：（前期）29名（後期）55名 |
| 27 | 事業名 （事業主体） | 鹿児島大学 21世紀版薩摩藩英国留学生派遣事業「UCL 稲盛留学生」 （鹿児島大学） |
| | 開始年度 | 令和元年度 |
| | 事業概要 | 鹿児島大学憲章に基づき、1865年の幕末時代の薩摩藩の精神を継承し、「進取の気風」を備えた人材を輩出するため、英国の名門校 University College London で学ぶ学生を経済的に支援する。 |
| | 令和6年度実績 | 0人 |
| | 令和7年度計画 （実績を含む） | 募集予定 |
| 28 | 事業名 （実施主体） | 鹿児島大学外国人留学生受入プログラム支援事業 （鹿児島大学） |
| | 開始年度 | 令和5年度 |
| | 事業概要 | 鹿児島大学に受け入れる外国人留学生の増加に向けて、外部資金の獲得につながる魅力ある受入プログラムの企画・開発を促進するため、必要な支援を行う。 |
| | 令和6年度実績 | ・米国：1名 ・インドネシア：2名 ・タイ：1名 ・マレーシア：3名 |
| | 令和7年度計画 （実績を含む） | ・米国：3名 ・インドネシア：2名 ・タイ：1名 ・フィリピン：1名 ・台湾：1名 |
| 29 | 事業名 （実施主体） | 外国人留学生国内就職支援事業 （鹿児島大学） |
| | 開始年度 | 令和6年度 |
| | 事業概要 | 外国人留学生の国内就職を促進するため、国内企業等に就職する外国人留学生を支援する。 |

| | | |
|--|--------------------|-----|
| | 令和6年度実績 | 20名 |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 未定 |

② 鹿屋体育大学

| | | |
|---|--------------------|---|
| 1 | 事業名 (事業主体) | 国費外国人留学生制度 |
| | 開始年度 | — |
| | 事業概要 | 在外日本国大使館を通じて外国人を日本の国費により受け入れ、日本の大学等において学習・研究を行う。 |
| | 令和6年度実績 | 受入人数：0名 |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 受入人数：0名 |
| 2 | 事業名 (事業主体) | 官民協同海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～ |
| | 開始年度 | — |
| | 事業概要 | 海外での「異文化体験」や「実践活動」を焦点にした留学を推奨し、学生時代に多様な経験と、自ら考え行動できるような体験の機会を提供するため、諸外国の大学等といった教育機関での留学だけでなく、企業でのインターンシップや学生が立案した多様なプロジェクト等での留学を支援する。 |
| | 令和6年度実績 | 派遣人数：0名（応募者無し） |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 派遣人数：0名（応募者無し） |
| 3 | 事業名 (事業主体) | 私費外国人留学生の受け入れ |
| | 開始年度 | — |
| | 事業概要 | 学部・大学院において、国費留学生制度や自国政府派遣留学生制度によらない私費で留学する学生を受け入れる。 |
| | 令和6年度実績 | 受入人数：14名 (内訳：中国13名、台湾1名) |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 受入人数：15名（内訳：中国13名、モンゴル1名、韓国1名） |
| 4 | 事業名 (事業主体) | 国際交流協定校との交換留学 |
| | 開始年度 | 平成9年度 |
| | 事業概要 | 本学と国際交流協定（学生交流に関する覚書）を締結している大学との間で交換留学を実施する。 |
| | 令和6年度実績 | 受入人数：3名 派遣人数：0名（応募者無し） |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 受入人数：4名 派遣人数：0名（応募者無し） |

| | | |
|---|----------------------|--|
| 5 | 事業名 (事業主体) | 国際学会発表等旅費支援 |
| | 開始年度 | 平成 22 年度 |
| | 事業概要 | 大学院生を対象に、海外で開催される国際学会等における研究発表にかかる旅費を支援する。 |
| | 令和 6 年度実績 | 支援人数：5 名 |
| | 令和 7 年度計画 (実績を含む) | 支援人数：現在、募集中 |
| 6 | 事業名 (事業主体) | 海外調査研究等旅費支援 |
| | 開始年度 | 平成 30 年度 |
| | 事業概要 | 学部生・大学院生を対象に海外の研究機関等における調査研究の実施にかかる経費を支援する。 |
| | 令和 6 年度実績 | 支援人数：0 名（応募者なし） |
| | 令和 7 年度計画 (実績を含む) | 支援人数：0 名（応募者なし） |
| 7 | 事業名 (事業主体) | 国際交流協定校との短期研修 |
| | 開始年度 | 平成 29 年度 |
| | 事業概要 | 大学間交流協定締結大学との間で、相互の学生受け入れの活性化を目的として、1 週間程度の日程で学生の受入れ及び派遣を行い、研修を実施する。 |
| | 令和 6 年度実績 | 実績なし |
| | 令和 7 年度計画 (実績を含む) | 未定 |
| 8 | 事業名 (事業主体) | 海外短期研修 |
| | 開始年度 | 平成 29 年度 |
| | 事業概要 | 海外での短期研修を実施し、学生の英語力向上、異文化及び海外のスポーツ事情に対する理解を高め、グローバルな人材を育成する。 |
| | 令和 6 年度実績 | 実績なし |
| | 令和 7 年度計画 (実績を含む) | 未定 |
| 9 | 事業名 (事業主体) | 外国人研究者招へい事業 |
| | 開始年度 | — |
| | 事業概要 | 諸外国の優秀な研究者を招へいし、我が国の研究者との共同研究、討議、意見交換等を行う機会を提供することにより、外国 |

| | | |
|----|--------------------|---|
| | | 人研究者の研究の進展を支援すると同時に、外国人研究者との研究協力関係を通じて、我が国の学術研究の推進及び国際化の進展を図る。 |
| | 令和6年度実績 | 実績なし |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 未定 |
| 10 | 事業名 (事業主体) | ペルー共和国における柔道指導 (JICA 海外協力隊連携派遣覚書に基づく短期派遣) |
| | 開始年度 | 令和6年度 |
| | 事業概要 | 本学と国際協力機構 (JICA) とが締結した連携派遣に係る覚書に基づき、令和6年度~8年度の3か年に亘り、本学柔道部の学生を各年2名ずつ、約1か月間ペルー共和国に派遣する。ペルー日系人協会 (Asociación Peruano Japonesa : APJ) が現地での受け入れ機関となり、派遣者は現地の指導者と共に、リマ市内の道場等で柔道指導にあたる。 |
| | 令和6年度実績 | 派遣人数 : 2名 |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 未定 |

③ 鹿児島国際大学

| | | |
|---|--------------------|---|
| 1 | 事業名 (事業主体) | 海外協定校との交流 |
| | 開始年度 | 平成8年度 |
| | 事業概要 | 海外大学との学術交流協定に基づく教職員および学生の交換 |
| | 令和6年度実績 | 派遣人数：4名 前期：1名（韓国：1名） 後期：3名（韓国：3名） 受入人数：8名 前期：6名（韓国：3名，台湾：3名） 後期：2名（台湾：2名） |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 派遣人数：5名 前期：2名（韓国：1名，中国：1名） 後期：3名（中国：2名，イギリス：1名） 受入人数：5名 前期：2名（中国：2名） 後期：3名（中国：1名，台湾2名） |
| 2 | 事業名 (事業主体) | 国際交流委員会主催講演会 |
| | 開始年度 | 平成2年度 |
| | 事業概要 | 国内外の講師を招聘し，本学の教育・研究活動の充実に資する講演会の開催 |
| | 令和6年度実績 | なし |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 1月23日に講演会を開催する予定。 |
| 3 | 事業名 (事業主体) | 私費外国人留学生受入 |
| | 開始年度 | 平成8年度 |
| | 事業概要 | 鹿児島県と関わりがある国・地域や東南アジア諸国から私費外国人留学生の受入 |
| | 令和6年度実績 | 受入人数：前期8名 後期8名 ・4月入学：8名（中国：8名） ・10月入学：8名（中国：7名，台湾1名） |

| | | |
|---|----------------------|--|
| 4 | 事業名（事業主体） | 海外インターンシップ（大連，台北，高雄） |
| | 開始年度 | 平成 24 年度 |
| | 事業概要 | 学生の就業力育成を目的とし，海外の現地企業で 2 週間程度の就業体験を行う。 |
| | 令和 5 年度実績 | ・高雄コース 実施日：令和 5 年 8 月 25 日～9 月 8 日実施 ・大連コース 実施日：令和 5 年 9 月 3 日～17 日 |
| | 令和 6 年度計画 （実績を含む） | ・大連コース 実施日：9 月 13 日～25 日 ・台北コース・高雄コース 実施予定：2 月 |
| 5 | 事業名 （事業主体） | 海外調査実習 |
| | 開始年度 | 平成 29 年度 |
| | 事業概要 | 海外の知見を深めることを目的として，企業の視察，市場調査，大学等との交流を行う。 |
| | 令和 5 年度実績 | 参加人数：8 名 訪問先：上海（実施日：9 月 9～18 日） |
| | 令和 6 年度計画 （実績を含む） | 参加人数：7 名 訪問先：上海（実施日：9 月 7～17 日） |
| 6 | 事業名 （事業主体） | 清華大学グローバルサマープログラム |
| | 開始年度 | 令和 2 年度 |
| | 事業概要 | 未来のグローバルリーダーに学際的なプラットフォームを提供することを目的として，学術的，文化的，社会的な問題を組み合わせたシラバスを基に，英語でオンライン講義，セミナー，ワークショップを実施 |
| | 令和 5 年度実績 | — |
| | 令和 6 年度計画 （実績を含む） | なし |

④ 第一工科大学

| | | |
|---|--------------------|--|
| 1 | 事業名 (事業主体) | 海外の大学とのMOU締結 |
| | 開始年度 | 令和2年度 |
| | 事業概要 | 大学の国際化 |
| | 令和6年度実績 | ・アメリカ：ハワイ大学 実績なし |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 未定 |
| 2 | 事業名 (事業主体) | JICA事業への協力 |
| | 開始年度 | 令和2年度 |
| | 事業概要 | JICAの各種事業に協力し大学の教育効果を高める。 |
| | 令和6年度実績 | (1) JICA研修生による講義 (2) ベオグラード大学へ本学教授を派遣 (3) セルビアから研修生を受け入れ 実績なし |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 未定 |
| 3 | 事業名 (事業主体) | 国際関係講義・講演会 |
| | 開始年度 | 令和2年度 |
| | 事業概要 | 学生・教職員の国際感覚向上を図る。 |
| | 令和6年度実績 | ・ベオグラード大学 ベスコスキ教授による特別講義 実績なし |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 未定 |
| 4 | 事業名 (事業主体) | 科学技術外交への協力 |
| | 開始年度 | 令和2年度 |
| | 事業概要 | わが国の科学技術外交に民間の立場から協力する。 |
| | 令和6年度実績 | ・本学教授の台湾派遣 実績なし |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 未定 |
| 5 | 事業名 (事業主体) | 霧島市との協力 |
| | 開始年度 | － |
| | 事業概要 | 市の国際関係事業に協力、もって地域振興に資する。 |

| | | |
|---|--------------------|---|
| | 令和6年度実績 | 霧島市国際交流協会理事会等に学長代理が出席 |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 霧島市国際交流協会理事会等に学長代理が出席 |
| 6 | 事業名 (事業主体) | 私費外国人留学生の受け入れ |
| | 開始年度 | — |
| | 事業概要 | 学部学生として、国費留学生制度や自国政府派遣留学生制度によらず、私費で留学する学生を受け入れている。 修学期限：4年 |
| | 令和6年度実績 | 受入人数：9名 (中国：5名，ネパール：3名，ミャンマー：1名) |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 受入人数：10名 (中国：8名，スリランカ：1名，マリ：1名) |

⑤ 志學館大学

| | | |
|---|--------------------|--|
| 1 | 事業名 (事業主体) | 海外語学研修 |
| | 開始年度 | 平成元年度 |
| | 事業概要 | コミュニケーション・イングリッシュ（生きた英語）の習得，英国の歴史，文化的背景の体験・学習並びに国際性の涵養を目的に，イギリスでホームステイをしながらの語学研修（語学学校において）及び視察を行う。 |
| | 令和6年度実績 | 派遣人数：18名 派遣先：イギリス 派遣期間：令和7年2月7日～2月24日 |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 派遣人数：5名（予定） 派遣先：イギリス 派遣期間：令和8年2月13日～3月3日（予定） |
| 2 | 事業名 (事業主体) | 韓国の言語と文化 |
| | 開始年度 | 平成16年度 |
| | 事業概要 | 韓国ソウル市内の視察，韓国の伝統文化体験，公演鑑賞を通じて，韓国の歴史・文化・言語に対する理解を深める。 |
| | 令和6年度実績 | 派遣人数：16名 派遣先：韓国・ソウル 派遣期間：令和6年9月4日～9月8日 |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 派遣人数：17名 派遣先：韓国・ソウル 派遣期間：令和7年9月1日～9月5日 |
| 3 | 事業名 (事業主体) | 交流協定に基づく交換留学（韓国／新羅大学校） |
| | 開始年度 | 平成10年度 |
| | 事業概要 | 両大学の学生を相互に1年間留学させることによって，異文化交流を深める。 |
| | 令和6年度実績 | 受入：0名 派遣：1名 期間：令和7年3月～令和8年2月 |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 受入：1名 期間：令和7年4月～令和8年3月 派遣：1名 期間：令和8年3月～令和9年2月 |
| 4 | 事業名 (事業主体) | 交流協定に基づく交換留学（中国／澳門大学） |

| | | |
|---|----------------------|--|
| | 開始年度 | 平成 8 年度 |
| | 事業概要 | 両大学の学生を相互に 1 年間留学させることによって、異文化交流を深める。 |
| | 令和 6 年度実績 | 受入：0 名 派遣：1 名 期間：令和 6 年 9 月～令和 7 年 8 月 |
| | 令和 7 年度計画 (実績を含む) | 受入：0 名派遣：0 名 |
| 5 | 事業名 (事業主体) | 交流協定に基づく交換留学（台湾／文藻外語大学） |
| | 開始年度 | 平成 14 年度 |
| | 事業概要 | 両大学の学生を相互に 1 年間留学させることによって、異文化交流を深める。 |
| | 令和 6 年度実績 | 受入：0 名 派遣：1 名 期間：令和 6 年 9 月～令和 7 年 8 月 |
| | 令和 7 年度計画 (実績を含む) | 受入：2 名 期間：令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月 派遣：1 名 期間：令和 7 年 9 月～令和 8 年 8 月 |
| 6 | 事業名 (事業主体) | 私費外国人留学生の受入 |
| | 開始年度 | 平成 7 年度 |
| | 事業概要 | 私費外国人留学生の受入（学部留学生として：四年制） |
| | 令和 6 年度実績 | 受入：1 名（ベトナム 1 名） |
| | 令和 7 年度計画 (実績を含む) | 受入：1 名（ベトナム 1 名） |
| 7 | 事業名 (事業主体) | 英国インペリアル大学剣道部との親善交流 |
| | 開始年度 | 平成 14 年度 |
| | 事業概要 | 日英両国の友好親善の一層の促進を図ることを目的に両国政府で企画した「日本の文化とライフスタイル」を紹介するイベント『Japan 2001』の一環として、志學館大学剣道部学生 24 名がロンドンを訪問したことがきっかけで始まった交流。剣道部だけでなく、留学に関心のある一般学生との交流を通じ相互の理解を深める。 |
| | 令和 6 年度実績 | 予定なし |
| | 令和 7 年度計画 (実績を含む) | 受入：13 名 期間：令和 7 年 7 月 2 日～3 日 |

| | | |
|---|--------------------|---|
| 8 | 事業名 (事業主体) | 英国剣道協会とのパートナーシップ協定 |
| | 開始年度 | 令和6年度 |
| | 事業概要 | 令和5年度に来学した英国剣道協会からの申し出によりパートナーシップを締結。剣道部だけではなく一般学生との交流を深める。 |
| | 令和6年度実績 | 令和6年5月18日締結 |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 予定なし |

⑥ 鹿児島純心大学

| | | |
|---|--------------------|---|
| 1 | 事業名 (事業主体) | 私費外国人留学生の受け入れ |
| | 開始年度 | 平成6年度 |
| | 事業概要 | 私費外国人留学生の受け入れ, 支援 |
| | 令和6年度実績 | 受入人数: 0名 |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 受入人数: 0名 |
| 2 | 事業名 (事業主体) | 交換留学生の派遣・受け入れ |
| | 開始年度 | 平成9年度 |
| | 事業概要 | 台湾の交換留学提携校(静宜大学・文藻外語大学)への留学派遣・受け入れ, 留学を希望する学生への支援 |
| | 令和6年度実績 | 派遣人数: 1名 受入人数: 3名 |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 派遣人数: 0名 受入人数: 7名 |
| 3 | 事業名 (事業主体) | 海外日本語インターンシップ |
| | 開始年度 | — |
| | 事業概要 | オーストラリアの高校へ日本語教師アシスタントとして派遣 |
| | 令和6年度実績 | 派遣人数: 3名 |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 派遣人数: 1名 |
| 4 | 事業名 (事業主体) | 海外語学研修 |
| | 開始年度 | 令和元年度 |
| | 事業概要 | 発信型英語の向上, 最新の語学教授法の学習と現地の学校訪問 (2月中旬~3月下旬) |
| | 令和6年度実績 | 0名 |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 0名 |

⑦ 鹿児島純心女子短期大学

| | | |
|----------------------|----------------------|--|
| 1 | 事業名 (事業主体) | 英語科海外研修 |
| | 開始年度 | 昭和 54 年度 |
| | 事業概要 | 英語力向上を図るとともに異文化を体験し、国際理解を深めることを目的に、ホームステイをしながらオーストラリア、イギリス（またはカナダ）の語学学校で学ぶ。イギリスでは、語学研修に加え、エアライン研修も行う。 |
| | 令和 6 年度実績 | (1) オーストラリア 派遣期間：令和 7 年 2～3 月、派遣人数：22 名 (2) イギリス 派遣期間：令和 7 年 2～3 月、派遣人数：10 名 |
| | 令和 7 年度計画 (実績を含む) | オーストラリアでの研修へ 17 名が参加予定。 |
| 2 | 事業名 (事業主体) | 英語科認定留学 |
| | 開始年度 | 平成 27 年度 |
| | 事業概要 | 語学を学びながら実際に生活の中で使い、実践的な語学力を養うとともにコミュニケーション能力や自主性、グローバルな視野を身につけることを目的に、1 学年後期、協定校に留学する。留学先の成績が良好である場合は、1 学年後期の単位を認定し、2 年間で卒業することができる。 |
| | 令和 6 年度実績 | カナダ 派遣期間：令和 6 年 8 月～令和 7 年 2 月、派遣人数 2 名 |
| 令和 7 年度計画 (実績を含む) | 希望者がいなかったため実施なし | |
| 3 | 事業名 (事業主体) | 官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム（文部科学省） |
| | 開始年度 | — |
| | 事業概要 | 当該プログラムを活用し、学生の留学を支援する。 |
| | 令和 6 年度実績 | 希望者がいなかったため実施なし |
| | 令和 7 年度計画 (実績を含む) | 希望者がいなかったため実施なし |
| 4 | 事業名 (事業主体) | 日本語教官助手プログラム |
| | 開始年度 | 平成 5 年度 |
| | 事業概要 | 日本語教育関係科目を履修し単位を取得した学生の中から選抜された学生が、オーストラリアの提携校で日本語教官助手とし |

| | | |
|---|--------------------|---|
| | | て無償で1年間働く，海外インターンシップ制度である。 |
| | 令和6年度実績 | 在学生へのプログラム提供は廃止 |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | なし |
| 5 | 事業名 (事業主体) | 海外留学 |
| | 開始年度 | 平成27年度 |
| | 事業概要 | 本学と協定を結んだオーストラリア，カナダ，イギリス等の大学等に，休学して留学する。 |
| | 令和6年度実績 | 希望者がいなかったため実施なし |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 令和8年度で閉学するため，プログラム提供は廃止 |
| 6 | 事業名 (事業主体) | 英語科外国人学生受け入れ |
| | 開始年度 | 昭和59年度 |
| | 事業概要 | 海外の学生との交流 |
| | 令和6年度実績 | 希望者がいなかったため実施なし |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 希望者がいなかったため実施なし |

⑧ 鹿児島県立短期大学

| | | |
|---|----------------------|--|
| 1 | 事業名 (事業主体) | 国際学術交流事業① 南京農業大学との交流 |
| | 開始年度 | 平成 13 年度 |
| | 事業概要 | 教育・文化分野の交流を行う (1) 両大学による相手大学の留学生の受入れ (2) 県短学生の派遣 (異文化コミュニケーション研修約 2 週間) |
| | 令和 6 年度実績 | (1) 前期 1 名受入 (令和 6 年 4 ~ 8 月) 通年 1 名受入 (令和 6 年 4 ~ 2 月) 後期 1 名受入 (令和 6 年 10 ~ 2 月) 後期 1 名派遣 (令和 6 年 9 ~ 2 月) (2) 派遣は応募者が定員 (15 名) に達せず中止 |
| | 令和 7 年度計画 (実績を含む) | (1) 受け入れは応募者なし 通年 2 名派遣 (令和 7 年 9 ~ 7 月) (2) 派遣は応募者が定員 (15 名) に達せず中止 |
| 2 | 事業名 (事業主体) | 国際学術交流事業② ハワイ大学との交流 |
| | 開始年度 | 平成 13 年度 |
| | 事業概要 | 教育・文化分野の交流を行う (1) 県短学生のハワイ大学への留学 (2) 県短学生の派遣 |
| | 令和 6 年度実績 | (1) 派遣実績なし (2) 教員 2 名, 学生 10 名派遣 (令和 6 年 9 月 10 ~ 25 日) |
| | 令和 7 年度計画 (実績を含む) | (1) 派遣実績なし (2) 教員 2 名, 学生 30 名派遣 (令和 7 年 9 月 1 ~ 14 日) |

⑨ 鹿児島女子短期大学

| | | |
|---|--------------------|---|
| 1 | 事業名（事業主体） | 樹人医護管理専科学校（台湾）との交流協定に基づく留学生受入れ |
| | 開始年度 | — |
| | 事業概要 | 両校の建学の精神に基づき、日本国と台湾相互の学術・教育の発展と、文化の交流及び親善を図る。 |
| | 令和6年度実績 | 希望者なし |
| | 令和7年度計画 （実績を含む） | 受入れ：2名 |
| 2 | 事業名（事業主体） | 海外事情 |
| | 開始年度 | — |
| | 事業概要 | 台湾市内を視察し、伝統文化等を体験することにより、台湾の歴史・文化・言語に対する理解を深める。また、台湾の人々と交流することにより、積極的に他国の人々と関わろうとする姿勢を身に着ける。 |
| | 令和6年度実績 | 参加希望者が催行人数に達しなかったため中止。 |
| | 令和7年度計画 （実績を含む） | 参加希望者が催行人数に達しなかったため中止。 |
| 3 | 事業名（事業主体） | 海外語学研修（英国ホームステイと語学研修） |
| | 開始年度 | — |
| | 事業概要 | コミュニカティブ・イングリッシュ（生きた英語）の習得、英国の歴史、文化的背景の体験・並びに国際性の滋養を目的に、イギリスでホームステイをしながらの語学研修（語学学校において）及び視察を行う。 |
| | 令和6年度実績 | 志學館大学との単位互換 期間：令和7年2月7日～2月24日 参加者：2名 |
| | 令和7年度計画 （実績を含む） | 希望者なし |
| 4 | 事業名（事業主体） | 私費外国人留学生受入れ |
| | 開始年度 | — |
| | 事業概要 | 学科学生として私費で留学する学生を受け入れる。 |
| | 令和6年度実績 | 在籍：1名 期間：令和5年4月1日～令和7年3月31日 |
| | 令和7年度計画 （実績を含む） | 受入れなし |

⑩ 鹿児島工業高等専門学校

| | | |
|---|--------------------|--|
| 1 | 事業名 (事業主体) | 国費外国人留学生制度 (文部科学省) |
| | 開始年度 | 平成3年度 |
| | 事業概要 | 外国人を国費で受入れ、日本人学生と共に学ぶ。 |
| | 令和6年度実績 | 受入人数：3ヶ国から3名 (カメルーン, モンゴル, カンボジア) |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 受入人数：2ヶ国から2名 (カメルーン, ミャンマー) |
| 2 | 事業名 (事業主体) | 学術交流協定 |
| | 開始年度 | — |
| | 事業概要 | 海外の教育機関等と学術交流協定を締結し、海外研修プログラム、海外インターンシップ、学生交流の実施、国際シンポジウム、ワークショップの開催等を行っている。 |
| | 令和6年度実績 | ・九州沖縄地区国立高等専門学校の包括協定9件(6ヶ国) ・鹿児島高専単独協定10件(9ヶ国) |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | ・九州沖縄地区国立高等専門学校の包括協定1件(1ヶ国) ・鹿児島高専単独協定6件(6ヶ国) |
| 3 | 事業名 (事業主体) | 外国人留学生支援懇談会 (鹿児島工業高等専門学校) |
| | 開始年度 | — |
| | 事業概要 | 本校留学生が日頃からお世話になっている学内外の留学生支援関係者と本校の留学生とが顔を合わせ、親睦を深めることを目的として例年開催している。 |
| | 令和6年度実績 | 開催日：2月20日(木) 出席者：15名 (霧島市、日置市の留学生支援関係者や本校留学生5名含む) |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 開催日：2月19日(木) 出席者：未定 (霧島市、日置市の留学生支援関係者や本校留学生4名含む) |
| 4 | 事業名 (事業主体) | 海外研修 (鹿児島工業高等専門学校) |
| | 開始年度 | — |
| | 事業概要 | 海外での生活や語学研修を体験することで異文化理解を深めると共に、英語学習の重要性を理解し、今後の学習意欲を高める。 |
| | 令和6年度実績 | ・スウェーデン・ストックホルム夏季異文化研修 参加者：8名 |

| | | |
|---|--------------------|--|
| | | <p>研修期間：令和6年9月16日～令和6年9月26日</p> <p>・春季台湾研修・台北科技大学との交流プログラム</p> <p>参加者：13名</p> <p>研修期間：令和7年3月8日～令和7年3月12日</p> |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | <p>・スウェーデン・ストックホルム夏季異文化研修</p> <p>参加者：15名</p> <p>研修期間：令和7年9月15日～令和7年9月25日</p> <p>・春季台湾研修・台北科技大学との交流プログラム</p> <p>参加者：17名</p> <p>研修期間：令和8年3月10日～令和8年3月14日</p> |
| 5 | 事業名 (事業主体) | <p>九州沖縄地区国立高等専門学校とマレーシア・ペトロナス工科大学との合同国際シンポジウム『International Symposium on Innovative Engineering (ISIE)』</p> <p>(国立高等専門学校第5ブロック国際交流推進WG)</p> |
| | 開始年度 | 平成29年度 |
| | 事業概要 | <p>グローバルに活躍できる技術者育成を継続的に推進するため、英語による国際シンポジウム(研究発表)を通して、グローバルマインドや英語でのコミュニケーションスキルを養成し、国際社会で活躍できる人材を育成する。また、海外の学生との活動を通してグローバルに活躍できる人材に必要なこととは何かを学ぶこと、および高度な知識を有する専門家との研究に関するディスカッションを通して研究内容の高度化を図ることも目的とする。</p> |
| | 令和6年度実績 | 参加予定なし |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | 参加予定なし |
| 6 | 事業名 (事業主体) | <p>KOSEN Global Camp</p> <p>(独立行政法人 国立高等専門学校機構)</p> |
| | 開始年度 | 令和5年度 |
| | 事業概要 | <p>高専学生と海外学生と一緒に1つのテーマに対してディスカッションやものづくりを行う体験交流。</p> |
| | 令和6年度実績 | <p>開催期間：令和7年2月24日～令和7年3月1日</p> <p>開催場所：鹿児島工業高等専門学校</p> |
| | 令和7年度計画 (実績を含む) | <p>開催期間：令和8年2月23日～令和8年2月28日</p> <p>開催場所：鹿児島工業高等専門学校</p> |